關西大學新報

発行所
大阪市大淀区長柄中通
関西大学天六学舎内
関西大学新報社
電話 堀川㉟2072番
発行人 中山 駿
編集人 辻 忠裕
(定価一部十円)

眼鏡検定
メガネ
大学堂
心斎橋筋
(27) 8086
第一生命ビル専門大店
阪神百貨店5階

昭和33年度
四年間の苦難乗りこえて

巣立つ若鳩七二五名
千里山で 20日学士証書授与

昭和三十三年度の卒業式は、来る二十日（金）千里山第一学舎講堂で行われることに決った。十一日の各学部教授会で成績査定があり、総数七百二十五名（二部）の卒業生が決定、十二日午後五時発表された。それによると各学部ともかなりの卒業延期、残留者が明らかとなった。

卒業式（学士証書授与）は三月二十日、千里山第一学舎講堂で、午前十時から経商、一、二部一、二五三名午後一時から、法文、一、二部一、二四六名の学士証書授与式が行われるが、その式次第が次のとおり決定した。（法、文、経、商とも同じ）

卒業生、教職員、来賓入場。
一、開会
二、学歌（第一節）
三、証書授与（各学部別）
四、告辞（岡野学長）
五、挨拶（白川理事長）
六、答辞（卒業生総代）
七、合唱（蛍の光）
八、閉会

で、卒業式を終り、つづいて学友会の功労者に対し、学長および白川教育後援会長から、それぞれ学友会賞状授与、学友会功労者賞状ならびに賞品授与が行われ、来賓教職員が退場することになっている。

学士証書授与に対する、卒業生総代が決った。

▽経済学部　総代　浦　俊一
▽商学部　総代　西村　久宜
▽法学部　総代　藤木　英雄
▽文学部　総代　福島　照

三月十二日午後五時から四年次生の成績発表が、各学部別におこなわれたが、三十三年度卒業決定者は七二五名（二部）で、学部別にみると法学部四三七名、文学部七二名、経済学部二三二名、商学部一〇二名となっており、卒業延期残留決定者は経済学部一三三名、商学部五四名、法学部七四名、文学部五二名とは例年より多く昨年とほぼ同数となっている。

卒業延期者に対する再試験は、例年より早く、三月十五日から行われる。

卒業者に桐箱贈呈
33年度 歓送会はとりやめ

二月二十三日に開かれた執行委員会において、今年は卒業生歓送会は行わないことに決まった。その理由としては予算の点が上げられ、例年卒業の時には、学士証書を入れるのに紙の箱をわたしていたのであるが、これに対し一部の方は桐箱であるため式場において学生間の不満をかっていた、この問題を解決するのに今年は一部と同じく桐箱を贈ることに決定し、その費用が約二〇万円かかるため歓送会は実質上不可能となった。

なおひきつづき学友会会長賞および教育後援会会長賞の推薦が行われ、学長賞としては①中井昭夫（商四）②岡田実（法四）③長島邦光（経四）④吉田博文（法四）⑤吉田隆一（経四）が、教育後援会長賞としては⑥出井康雄（法四）⑦谷垣純一（経四）⑧浅倉満（商四）⑨中村⑩九山⑪井戸端⑫上西、⑬田中⑭小林、以上を推薦し選出した。

授業料値上取りやめ
一部 久井専務、三日に語る

一部の授業料値上げ問題について執行部では三月三日、久井専務と会談を行なった。

これは34年度学生募集要項に（一部のみ）施設拡充資金として四千円の値上げを予定されていたもので、二部には直接関係はないのであるが、その値上げの理由として一部学友会に対して長期財政計画に基づくものであると語り、二部学友会においては長期財政計画とは全く関係がないと述べた（関西大学新聞一四九号〝主張〟）点について話し合った。席上専務は、長期財政計画委員会においては四千円の値上の案は出されておらず、これは私案であっておくまでも予定である。と語り、そして本年度は値上は行わないことを明らかにした。また二部の授業料に関しては値上はぜんぜん考へていないと述べた。

その後教科書問題について中井委員長は現在の教科書に対して学生の不満が高まってきていることを話し、特に語学（英語）三和書房などの本があまりに高く、そしてその内容には疑問の点が多いことを指摘した。これに対し専務は一度理事会もこの問題をとり上げることを約した。

なおこの話し合いで四月中に三十六教室の机、椅子を新しく取り変へることが明らかとなった。

受験生全般に減る
依然変らぬ法学部
2部

昭和三十四年度二部第一次入学試験は二月二十三日、二十四日、二十五日の三日間にわたり天六学舎で行なわれたが、学部別志願者数合格者数は次のとおりである。

	志願者数	合格者数
法学部	[illegible]	[illegible]
経済学部	[illegible]	[illegible]
商学部	[illegible]	[illegible]
文学部	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

（　）内は女子

第一次、二次試験合格者の入学式は四月十日（金）午後五時より天六学舎講堂にて行なわれる。

昭和三十四年度第一次試験による入学状況は前記のとおり、法学部の志願者数は文学部の三・五倍強で関大法科の伝統は今も盛んであることがうかがわれるが、経済学部もそれに劣らず多数の志願者を示している。

商、文学部のそれが少ないのは毎年のことであるが、全体としてみると、年々その志願者が減ってくるのは、他大学の例でもある如く、昼間部にくい込んでいく者が最近多く、また昼間部との社会的差別ならびに経済的負担がその主な原因であろうかと思われる。

女子においては、わずか十三名しか志願しておらず、男子志願者の一割にもほど遠いのは毎年のことはいうものの、非常にさびしいものである。また商学部に於ては一人もないのであるから、この時期にある女子の勉学の機会がいかに少ないかが如実に物語っている。第二次試験は、商、文学部では定員より少ないため行なわれるが、法、経は募集しない。

なお、商、文学部第二次試験は次のとおりである。
一、受付　三月九日－三月二十七日
一、試験　三月二十九日
一、調査書、健康診断書は第一次

論説
栄光の門出を祝して
卒業生諸兄姉に贈る

再び巡り来た春と共に、今日学び舎を巣立れる諸兄姉に、先ずは心から晴れの御卒業を祝する。

大学四年の過程、それは口では簡単にいい得ても過ぎ去ったその日々には幾多の困難、苦難があったことか。関西大学に入学を許されてから、その一日一日は昼間の勤務に疲れた心身に鞭うって昼間生と同じように、否、それ以上に時を惜んで勉学に、あるいはそれに加えて自治活動にと日夜辛苦勉励されたその四カ年の大学生活は、真に尊い経験であろう。

その上諸兄姉が入学された年は、本学創立七十周年を迎えた年でもあり、またその思い出も一層深いものであろう。卒業という事に伴う様々の感慨も年々歳々別段異なることはなかっても、時の流れと共に世の中の状勢は、変貌している。やっと学士証書をもらってこれを手に祝福されて門出しても、実社会には厳しい不景気風が恐々と吹きまくる中で、証書には何ら原校の区別なくとも、その学士証書の本質を信じてくれる程の世の中は生優しいものではない。

毎年増加する新卒業生が、望む所に就職するには非常にまれな人々である。例年のごとく一流会社のほとんどは、夜間学生を敬遠している。本年卒業の諸兄姉で就職希望者の内就職決定者数は、数字に表わすのは気がひけるようである。

しかし何故それ程までに大会社に就職せねばならないのだろうか、たとえ安定性があり好条件であっても一サラリーマンに変りがない。それよりも、中小企業の方に目を向けてみてはどうか。一流会社よりももっと人生経験が豊富にあるし、その仕事も会得出来る。今の時代を刹那に生きようとするよりも、腰を落つけて、未来に、来るべき「時」に希望を持ちもっと自分で自分を活かすように、深く静かに心をおちつけて見つめてゆきたいものである。

四年間つまずいたことはあっても、落伍せず初志を貫ぬいて来たことが無意味となろう。

次から次へとベルト・コンベアの上を押されて流れてゆく商品のように、その製品には合格の印を押されて商店へ送られるものと不良とされて落されるものに別れる。一つの商店に送られる幾つかの商品には他の工場から来た同類の商品と一緒にウィンドに並べられ、そこでまた売れないものと、そうでないものが出来る。客は最高の条件で彼らを求める。買手に求められたそのものは良ければ次々もまたそれと同種のものが求めら、れそうでなければ見離される。

就職というもの一つを考えてみても、日本の大学のもつ大きな問題がそこにある。

現在、数多くの大学はいったい何をするためにあるのか、いうならば中間階級以上の子弟が、条件のよい就職口を見つけるためにある。

過去から現在まで日本においては、学歴は社会的地位、経済的待遇をかちうる大きな武器と考えられていたのである。考えられているだけではなく実際このとうりなのである。

そして日本に〝学閥〟たるものが現出した。日本人の根底にある思想ー〝立身出世〟ーするという考え、そしてそれが人生の勝利者であると思い、そのことにある。自分本位でカラにとじこもり、真の人間性は完全にうしなわれてしまう。そこにはもはや〝自由〟はありえない。諸兄姉は今、大学がもつべき目的は何んであったか、その学ぶべき精神は何かということを認識し社会へ巣立っていただきたい。

現在大学の数が五〇〇となり、学生が六〇万を越えつつある。そして大学は営利を目的とし、社会にその大学のカラーにぬりつぶした、思想の無い、勤勉なエゴイズムな人間を養成し、おくりこんでいる。ここに大学の使命は終る。学生は就職のために、経営者は利益のためにあるといってもいいすぎではあるまい。

しかし関西大学の夜間にまなびえた諸兄姉はそのようなものをうちやぶり、今日の日を迎えられたのであるから、今日迄の得難い体験を土台として進んでいただきたい。我々夜学生が昼間の学生に比べて学力の点では云々といわれるが、人格と人間性に於いて劣っているとは思えない。諸兄姉は、今更の様に知らぬ間につみ重ねられた種々の経験が人間性となって現われているのを認め、自信を持ち、大いに誇られて良いものである。

今、世界中各国の人間が直面しているのは、全面的破滅か、新しい歴史への一大改革かと真に重大な岐路に立っている。えたいの知れない大きなものが奥底からおし上って来る様な不安な思いにつつまれて、この危機をどんなにして回避するかということは非常に困難となっている。ミサイルや原水爆等の新兵器のめざましい発達と、これに対する防衛手段と攻撃手段はいよいよふくらみ上って来ている。核兵器の保有は米・ソ・英の三大国に限られているだけだが、近いうちにはどこの国も自由に用いる様になるかもしれない。

このような不安な社会に出ていかれて、多くの困難な問題につきあたることであろうが、しかしこの大学の場で学びえた〝忍耐力〟と、何ものにも屈しない〝若き情熱〟とをもってこれを克服されんことをねがうものである。

記者の眼
舞台は中央へ進展か？

◎…二十三日の執行委員会で学長賞と教育後援会長賞の推薦問題でひと荒れした。例年この問題では執行部も頭をいためているのであるが、今年はとくにこれに値いする候補生が多種多様？なかでも学長賞候補の某君ごときは〝オレはもういらんよ〟と辞退するしまつ、〝イヤもらって悪い気はしないよ〟などとまちまち、そんなものは推薦する必要なしとする意見もかなり強かったが結局今年はもらうことにしようではないかと決定。推薦したのは良いがなんと十四名とは少し、多すぎませんか……。

◎学生大会が流会になり、そのままもたついていた規約改正の問題をとり上げて三月六日に七大部長会議が開かれた。学生大会持つ必要なし、四月一日絶対施行でおしてくるだろうと思っていた各パート代表、委員長の〝この問題にかんしてもう一度学生大会を開く必要があると、執行部の方もいろいろな意見を聞いたうえ考えましたので……〟にはおもわず二ガ笑い。おまけにこの規約の不備不用の点を明らかにし各部の意見をまとめて提出してくれるようにとの話し。この結果十日に予定していた自治委員会も流れることになって。このところ執行部も腰がくだけたかっこう。

◎…高速道路の問題もいっこうに進展しそうにない。舞台は中央にいっておりまして現在政界に働きかけ……という話らしいが、どうやら条件闘争の可能性が強くなってきた。それにしても一部の学友会報の号外で〝問題になる二部の独断〟とだいして全学連（十三回臨時全国大会）で二部学友会から関西大学を通過する高速道路設置反対が上程され、これが可決されたことを批判的に書かれてあるが、反対運動を舞台は東京に移ったからといって経営者側に一任せずに、学生は学生なりでまた別の方面から絶対反対を強力に打ちだすべきではなかろうか……。ともあれ関西大学の発展が阻止されるとなればその一員であるわれわれもだまって見ているわけにはいくまいから……。

昨年より11％増加 男子
文部省の就職状況調査

文部省では、このほど、三十三年十一月三十日現在における三十三年度大学卒業予定者（短大、大学院を含む一般学部）の就職状況調査をまとめて発表した。

昨年十一月三十日までに、就職希望者のおよそ四八％五万九千人（前年より約一千二百人増加）決定している。

決定者と前年同期に比較すると、男子で五千九百人（11％）女子で一千二百人（32％）が増加している。また就職決定先を事業所別にみると、大企業（従業員五百人以上）三万二千五百人、中企業（従業員百人から四九九名）に一万七千人、小企業（従業員百人未満）に四千五百人、学校、官公庁五千人となっており、産業別では、製造業、金融保険業、卸、小売業、運輸通信、建設業、サービス業、公務、教育と続いている。

学科系統別の決定状況では、工学部が希望者数の78％（一万七千人）でトップ、続いて法、経、商56％（五万五千人）理学部40％（三万三百人）農業部の38％六千百人）文学部33％（一万九千四百人）教育、体育学部、家政学部となっている。また農学部を除く他の学部は昨年同期より、20－10％の増加となっており、十月、十一月にかけ、最も多く四万三千人が決定している。

またこの文部省の発表から、今期の就職状況の特約とし見られることは①例年悪いといわれていた女子就職決定率が、予想外のびたこと②十一月三十日までの決定数が例年より増加している。

まず①を数字でみると、今年度の決定者は五千二百人で前年同期の一千三百名を軽くオーバーしている、割合にすると三二％の増加である。増加内容は大中企業を増し産業別では製造、サービス業となっている。この原因として①女性の職場が開拓されたか②低賃金で雇い新陳代謝が容易なためかのいずずかが考えられるが、これについて文部省当局は数年経たねば判らないといっている。

②原因としては、今まで大企業の後、中小企業が求人申込みをしていたが、今度は大企業と同時申入れをし、例年より早く採用決定した会社のあることがあげられる。

しかし文部省では「これから三月末にかけ、地方の教育採用試験なども行なわれるだろうが景気の転換などで採用状況は予想し難い」といっている。

七大部長会議開かる
規約改正の問題大詰へ

四月一日より施行されることになっている、執行部から提案された規約改正案、をめぐって三月六日午後七時二十分から、学友会会議室において、各部代表の七大部長会議が開かれた。出席者は執行部代表中井委員長、佐々木副委員長、学術研究部代表、文化部代表、体育部代表、弁論部代表応援団、新報社で、女子同好会代表は欠席で、会議は進められた。雨天のため予定の時刻を約一時間遅らして開会にはいった。

春季学生大会において全学投票を実施し、その結果によって善後策をとることになり、昨年十二月十一、十二、十三の三日間にわたり全学投票が行なわれ、賛成一、五九〇票、反対六八一票で規約改正案は事実上、承認れたが、この投票管理について選管委に問題があり、四月一日の施行日を前に、各部の意見交換が行なわれた。大要は（一）最高決議機関を代議員制度としたこと（一）全学投票制を設けたこと（一）会長制を廃止し、名誉役員としての学長を削除したこと（一）綱領を設定したこと（一）予算配分について一般行事費並びに執行委員会費とクラブ関係予算の分割を定めたこと（一）自治委員会名称を中央委員会名称を中央委員会とし構成を変更したことなどについて討議され一般学生との遊離が問題になり代議員制になった場合はこの遊離を防ぐ条文が新規約にはなくしたがって執行部が独歩する能可性が充分あるので、その運づけの条文や、その他細部についてもさらに、各部ごとに討論会を行い、意見調整の上、三月十四日まで執行部に文書で提出し、これを執行部は整理して、さらに七大部長会議を開き、四月中に予定されている学生大会にのぞむことになった。

三十四年度三年次編入試験要項

（一）出願資格
体育四単位（講義二単位、実技二単位）を含めて六〇単位以上修得していること。

（一）出願手続
一、入学願書、本学所定のもの。
二、調査書または成績証明書、在学（修了）証明書。
三、健康診断証明書
四、身上申告書
五、検定料三、〇〇〇円

（一）受験外国語の選択について
出願者は左記の区分に従って、受験時の外国語を選択して、願書に記入しなければならない。提出後の変更は一切認めない。法学部、経済学部、商学部は英語、仏語、独語の中いずれか一ケ国語、文学部は英文科は英語、仏文学科は仏語、独文学科は独語で、他の学科は英語、仏語、独語の中いずれか一ケ国語。

（一）出願受付期間及び場所
昭和三十四年三月二日（月）－三月十八日（水）まで、一部（昼）は千里山学舎各学部事務室自十時－至十六時（日曜を除く）二部（夜）は天六学舎各学部事務室自十時－至十九時（日曜を除く）

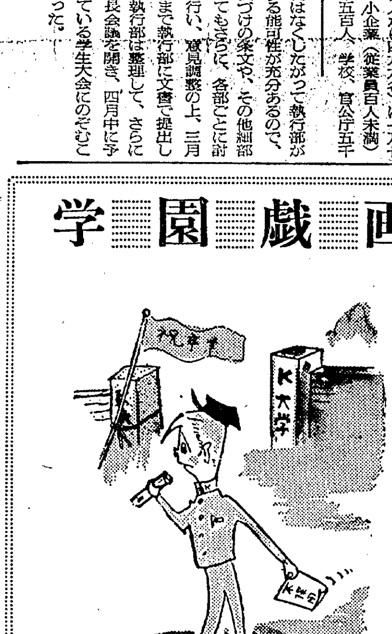
（一）試験期日、試験科目、試験場
一部、二部共通、三月二十一日（土）外国語、十時－十一時三〇分、論文十三時－十四時三〇分、千里山学舎、なお試験は、十時開始につき九時三〇分までに試験場に集合すること。

（一）入学許可者発表及び場所
昭和三十四年三月二十六日（木）十三時掲示によって発表する。一部は千里山学舎、二部は天六学舎。

（一）入学手続期日及び場所
昭和三十四年三月二十六日（木）－四月七日（火）各部学舎、各部事務室、毎日十時より十六時まで（日曜を除く）

一、入学式及び授業開始
入学許可者発表の際詳細に発表する。

学園戯画



卒業後　アーまた浪人か？

送る人、送られる人

御卒業おめでとう
在校生 佐々木 弘

（学友会副執行委員長）

卒業されます先輩のみなさんに学友会を代表いたしまして、心から「御卒業おめでとうございます」と申し上げます。

今日の日本および国際情勢をみますとき、先輩のみなさんが最高学府に学ばれんとし入学されました一九五五年（昭和三〇年）あるいはそれ以前の国内外情勢をくらべてみますとき、まず感じられますことは世界における科学の発達と、人間生活の変化であります。その事実を少しあげて回顧してみましょう。

原子爆弾に変る水爆の出現と同時に平和運動が大変な躍進をとげるための、第一回原水爆禁止世界大会（広島）が開かれた一九五五年以来、平和を守る運動が盛んになり、杉並区の主婦が始めた原爆反対の署名が世界中の人々に広まり、米・ソの冷戦緩和に果した役割と学生の平和擁護闘争、すなわち一九五六年の砂川基地拡張反対闘争……。

これらの運動の中で先輩のみなさんが果された偉大な闘争が私たち後輩にも正しく継承され、一九五七年のソビエトにおけるICBMの完成、人工衛星発射成功という国際的な平和勢力への力づよい励ましがマッチして、昨年の勤評斗争、警職法粉砕闘争へと発展、高揚しました。

また人間生活の変化の面をみましても、長い間植民地として米・英・仏帝国主義者にしいたげられて来た国々の民族独立と、中華人民共和国の偉大な発展、ソビエトの共産主義国家への移行。一方資本主義諸国（日本も含めて）における独占の利潤追及の増大と帝国主義的軍備拡張は生活をより貧困化との方向へと追いやっております。

これらの諸事実は私たち一人一人が好むと好まざるにかかわらず一つの法則をもって私たちの思想と生活に大きく影響しています。

この社会発展の事実にそくして先輩のみなさんに次の言葉を贈ります。

「私達の圧倒的部分が、プロレタリア・農民の子弟であることと、屈働いていること自身からプロレタリアートであること。このことは自らを解放するためには、自らの階級と共にブルジョアジーと対決しなければならないことを意味す。

し、また職場の仲間には、沢山向学心に燃える青年がいるが、各々の条件のもとで最高学府に学べる機会のない人がいることと、自分が最高学府に学べ得たことの対照、それを自己の利己的・小ブルジョア的出世主義に転化させることなく、職場の仲間に多く還元され、ともに人間社会の進歩発展と、平和と民主主義をめざして活躍され、リーダーとして必要な創造たくましい理論を展開されることを願ってやみません。

そして私達後輩にも併せてより良き御指導、御鞭撻を賜りますよう。先輩の皆さんの幸多かれといのりましてお別れいたします。

後輩の皆さんへ
卒業生 中井 昭夫

（学友会執行委員長）

「四年間の学友会活動の結果が失業ですか」という質問をよくこのごろされることがある、というのは卒業するにあたって、未だ就職が決らないし、行くあて先がないからである。

この言葉に関連して昨年春全学連に加盟したとき、学校当局者やあるいは一部先輩等の中に「全学連に加盟したから就職にひびくだろう」との発言がなされたことがある。このように私達の回りを取りまく社会にはこのような無気な発言が度々なされている。それがために私には理論的におたがいに確めあった行動を起す場合にも少しためらいの気持をもつことがあった。だから冒頭に記した言葉を発せられた時など「学友会活動などするんじゃなかった」という気持が心のどこかにひそんでいることもあった。しかし、このような気持を持つことは、同じく自治会活動を行なっている自治委員や、執行委員その他活動家の諸君に対する大きな侮辱であった。

だがいよいよ卒業式もあと数日という現在「卒業にあたって」という原稿を新聞社に依頼されて書いている時このような気持が何処かにすっこんでいることを認識した。もちろんこのことは卒業したら一からやりなおして勉強したいという将来の希望が確定して来たことにもよるが、何よりも現在の国際情勢の推移が私に大きな希望をもたしてくれたことによる。

それは、科学に、政治に、経済にと社会主義諸国の大きな発展はソ連の二十一回党大会やマクミラン英首相のモスクワ参りからとって大きくうなずけることであるが東風がいまや西風を圧し、世界の平和の力がいまや受身の立場から積極的な攻撃えと移行しつつ段階であるのを見るときに私が学っていなかったのを気付いたのであります。

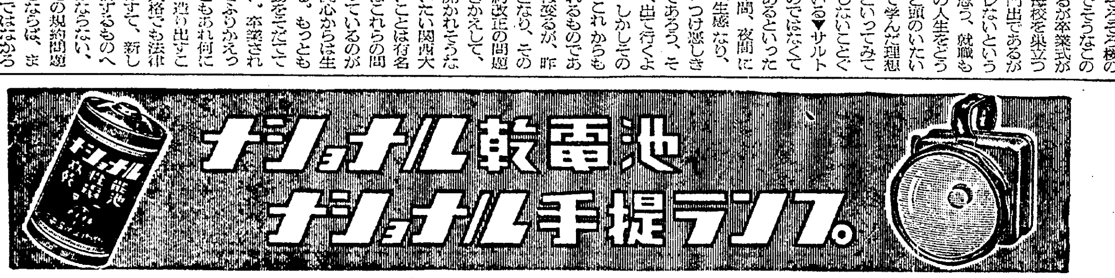
しかし私のこの経験を、後輩諸君に押しつけようとは考えないが、現在日本の社会情勢を分析しても、昨年の警職法以来岸政府に対する国民の批判の目はするどく、資本家に奉仕する彼等の方針に対して、労働者や農民は大きく抵抗を開始して来ている。「赤」という言葉で表はされてきた左翼の人達や、共産党の人達に対する国民の一種の日本人独特の毛ぎらいも親しいもののように感じとつて来ている。このような社会情勢の移行は理論的に考えて正しいことであり、私のような人間にとってはまことに将来の展望に確信をもたしてくれる。

三十四年度は国際国内的に、或いは学内にも重要な時期であると考えます。国内においては安全保障条約の改定或いは参議院を始め地方自治体選挙、一方、学内には昨年から取り上げている規約改正の再審議、五、六月頃には結論が出るだろうといはれている、長期財政委員会で審議されて来た関西大学の長期的な方針、これ等の問題を処する場合に指導力は今迄私が記してきた見方等をも考えていただき、願はくは学園の自治の向上、或いは反動的な諸政策に対して積極的に行動に立ち上っていただくことを期待いたします。

× ×

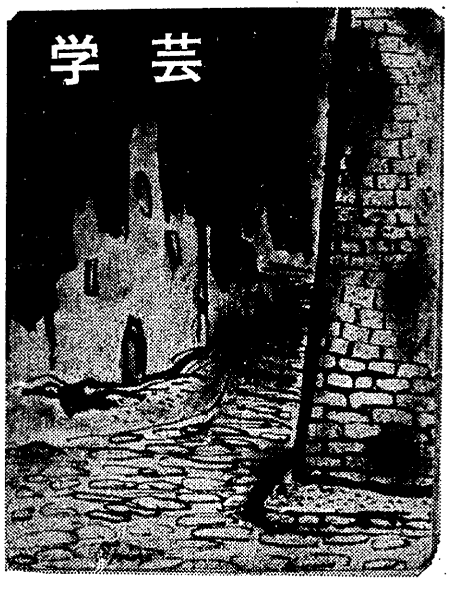
学声春秋

奈良二月堂のお水取が済めば本当の春になるという昔からの言いつたへがあるが、今年の春はおよそ一カ月早い。もうそろそろ桜のツボミもでそうなこのごろ例年のことであるが卒業式がやってきた、ハレて母校を巣立つ諸兄姉にはうれしい門出であるがしかしあまり心はハレないという人々も多いことだと思う。就職もきまらず、これからの人生をどうのりこえていこうかと頭のいたいことだ▼〝関西大学で学んだ理想と本学の精神を……といってみても社会はそれで通用しないことぐらいは、良く知っている▼サルトルは人間は「ある」のではなくて自己を「造る」のであるといったそうだが、この四年間、夜間に学びて、何らかの人生感なり、思想なりが、良しにつけ悪しきにつけ造られたことであろう、それを資本にして社会へ出て行くよりしかたがあるまい。しかしその資本は無限にある、これからもいくらでも造り出されるものであることは心強い▼話は変るが、昨年の学生大会が流会となり、このままになっていた規約改正の問題が、どうやら息をふきかえして、四月中に学生大会が開かれそうなことは喜ばしい。だいたい関西大学は自治意識がひくいことは有名で、とくに一般学生はこれらの問題に無関心をよそおっているのが多い。〝自治〟は無関心からは生まれ出ないものである。もっともっと積極的に自治活動をそだてていかなければならない。卒業される諸兄姉もこのことをふりかえってどうでしたか？▼ともあれ何にしてもそうであるが、造り出すことは必要なことで、不用なところはすて、新しいものえ、正しいと信ずるものへと造り変えていかねばならない、そういった意味からこの規約問題も、卒業問題をも見るならば、また違った良さがあるのではなかろうか。


ナショナル乾電池
ナショナル手提ランプ。

最高の理論水準を誇る週刊経済誌
エコノミスト
経済学専攻の学徒に的確なる経済知識を提供
創刊以来36年、つねに経済の理論面と現実面の結びつきを狙って編集されるエコノミストは、財政・金融・諸産業、および社会問題の当面する課題を分析し厳正なる批判を加えた国民経済誌です。また内外の新しい諸学説、諸論文の紹介は、経済学徒にとって必読の経済誌といえましょう。
毎週水曜日発売定価70円
毎日新聞社

34年版
末川博編著
岩波六法全書
2月14日発売
多年の経験と新しい創意を盛った現行法の集大成
30年の歴史をもつ本書は，32年版より画期的な版面拡大を実行し，内容の充実完備を図って大変御好評を頂き，研究者・実務家の間に座右の書としてひろく愛用されている．豊富で正確な法令内容・独特の法令総覧・充実した参照条文・事項索引などは特に定評がある
B6判上製函入
2560頁
価1100円
岩波基本六法
法学を学ぶ人々，日常生活で法律に関する知識を求める人々に必要で十分な法令を提供する万人常用の六法
〔発売中〕小B6判・ビニール特装320円
岩波書店　東京・神田・一ツ橋　〔振替東京26240〕



カット・大日野宗吉

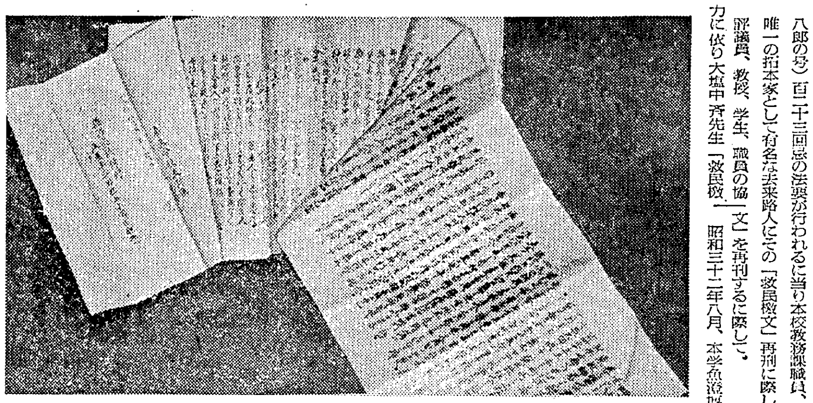
【ピエロの詞】

ラフォルグ

また本か。恋しいな。気障な奴等の居ない
とこ。
銭やお辞儀の無いとこや、無駄の議論の無
いとこが。
また一人ピエロが慢性孤独病で死んだ。
見てくれはおかしかったが、垢抜のした奴
だった。
神様は退去になる。猪頭ばかり残ってる。
ああ天下の事。日日に非なりだ。
用もひとと通り済んだから、
どれ、ひとつ「空扶持」にもありつかう。

大塩中斉の救民檄文再刊す

天保の大饑饉に際し窮民の苦しみに乗じて利益をむさぼる豪商や役人の処置を怒り兵を挙げて、救民しようとした大塩平八郎について、また、彼の遺蹟復興に関しての記事は、過九号、六〇号に掲載したが、今度「大塩平八郎檄文」が復刊され、来る二十七日、天満末広町日蓮宗、成正寺で中斎（平八郎の号）百二十三回忌の法要が行われるに当り本校教務課職員、安宅雅夫氏の好意により再び関西唯一の拓本家として有名な去来路人にその「救民檄文」再刊に際しての言葉を掲載する。



評議員、教授、学生、職員の協力に依り大塩中斉先生「救民檄文」を再刊するに際して、

昭和三十二年八月、本学魚澄博士を会長とする、大塩中斉先生顕彰会に依って、中斉先生の墓が復元されたが、今回本学の評議員、教授、学生、職員、四者の協力に依って、大塩中斉が挙兵前に大阪近郷の農民に配布した「救民檄文」が複刊された。

大塩中斉は、中江藤樹、熊沢蕃山に次ぐ陽明学者であって、大阪天満の与力であり、家塾、洗心洞を樹立して子弟を養成してその盛名を天下に馳せたが、天保八年のききんに際し、窮民の餓死するのを放置する幕政および富豪町人の豪奢なる生活に怒り、遂に洗心洞を挙げて兵を挙げた。救民檄文その前に、摂河泉播の農民に配布したものである。

近時、明治維新の先駆として見直されるようになった。中斉先生挙兵の精神はこの檄文に見られる。近代の人民解放は科学的精神によって理論づけられているが、大塩の挙兵は孔子の学よりわかれた陽明学による道義を根幹としている。

原子科学も宇宙科学も用い方によっては人類の破滅となる、この意味であらゆる学問の根底となるヒューマニズムの精神が必要とされているが、日本の従来の道義は政治経済に従属していた、ここに政治経済に従属せず死を以て道義を貫徹せんとした、大塩中斉先生を中心とする、大阪洗心洞一門の心血の文字であり、また日本民主主義の道標であり至誠の命脈にも通ずる「檄文」再刊の意義もただ真のヒューマニズムの発揚に外ならないものである。

援助者
評議員議長、阿部甚吉先生
教授、魚澄博士、金子教授、
川村勝太郎先生
学生、園田　実
職員、安宅　雅夫

展望台

開かれる学生大会

＝規約改正＝

各パートの意見尊重

秋の学生大会が流会となったあとをうけて、どうやら四月中に学生大会が持たれるもようである。

去年の春の学生大会から秋にかけて規約改正委員会が設けられ、改正に着手、立案されて、十二月十一日、十二日、十三日の三日間にわたって、全学投票が行われたのである。

しかしその全学投票に多くの疑問があり、不備な点もあった、そしてその問題をふくんで開かれた学生大会も流会となり、また選挙管理委員会の内でも統一がなされず、選管委員長、不信任案が出るしまつであった。そして規約の内容もまだまだ考えるべき点、問題があるとして、各パートの強力な反対にあった。しかし大半は規約を改正することには賛成しているのである。

これらを収拾するために執行委員会は、三月六日、七時より七大部長会議を開き話し合い、それぞれの言い分を聞いた。

席上、中井委員長から初めに、執行委員会としては各パートの意見をきき、これを調整して、四月中に学生大会を持ち、この規約改正を行いたいむね明らかにした。

こうなってくると各パートのとるべき態度が大へん問題になってくる。現在一ばんはっきりした線をだしてきているのは応援団で、そう言うところは、初めにある綱領（我々は民主的で平和な日本の学生として〝平和と民主主義とより良き学生生活のために〟という。この崇高なる目的のもとに一致団結して不撓不屈の努力を続けるものである我々学生は平和憲法擁護し……）と、第四条の上部団体の件（自治会は全日本学生自治会総連合を上部団体とする）というところ、そして第九条の権利の喪失（学生はその資格を喪失した時より一切の権利を失う。本人の意志に反して不当な方法で学籍を剥奪された場合で中央委員会がその処分を不当と認めた時はその限りではない）の三点の削除を上げている。

このほかにも、この新規約の骨子ともいうべき、代議員側についても疑問があると述べている。また学術研究部、弁論部も代議員側をするどく追究し、過去、現在の学生大会を見ると代議員側もうなずけないことはないが、これが最も良い方法であるとは思われない。とくにその内容をよく検討してみると、執行部の独走という危険が多分にあることを指摘している。

執行部の方としても、三十三年度の学生大会での決議にもとづいて行った全学投票有効、即日絶対施行という線はうちださず、もう一度この問題に関して学生大会を持ちましょうと、折れて出て来ている。ここまで収拾策を執行部がとってきている以上、現在いたずらに問題を混乱さすことはさけるべきであろう。

また席上各パートの意見を調整して、改正案の不備、不用の点を明らかにして提出するようにとの話があった。各部はこれにもとずいて三月十四日までに意見書を提出することとなっており、これを自治委員会へ持ちよりさらに学生大会の場で討議されるもよう。

このように各パートの意見を聞くということは執行部の独断をふせぐうえに必要なことで喜ばしいことだが、それにもまして一般学生への働きかけがほしい。

今回開かれる学生大会においても一般学生をどれだけ動員できるか、また一般学生の意見をどれだけ反映させうるかということが問題となる。

特にこの規約について一般学生は関心がうすいことは事実である。その理由としてはいろいろ上げられるが何んといっても関大生の自治意識のひくさが根本的なものであろう。また執行部の学生間へのアピール不足もいえるがしかし何んといっても現在学内の自治意識高揚が第一である。

そういった意味から今度の問題は大きな試練であるといわねばならない。

しかし何んといってもこの改正は現行規約上からいえば、大幅な改正といわなくてはならず、こういった意味から、この問題に時間をかけるということは、必要でありもっと討論することも大切だ。

しかしなにはともあれ、一年越しの問題だけに早く解決することをねがうものである。

時評

警察とマスコミ

文学部教授　金戸嘉七

通り魔事件の容疑者として、炭屋の十七才になる少年を「保護」してみたが、まったくの警察の見こみ違いとわかった。これは東京の話であるが、もし警職法改正案が通っていたら、こんな迷惑な保護を受ける少年はいよいよ増すことになりそうである。もうひとつ、大阪平野署の警官が、ものもあろうに秘密調査書を遺失して、それに共産党員の人権を侵害するような記載があったことが明かにされた事件がある。これも現物が出てきたので、そんなことが行われているのではないかと、うすうす感づかれていたことが、やはり特高時代と同様であると証明したわけである。警職法改正論者にとっては、都合の悪い話ばかりであるが、どうやら世論の正しいことを認識させる効果をもつ事件のようである。

ところで、この事例はまたどちらも、マス・コミとの関連においても考えてみなくてはならない。連行された十七才の少年にたいして、新聞が犯人扱いの報道をしたという非難が起った。二、三の新聞は社説に採りあげて自己反省をしたりしているが、どうもマス・コミの行きすぎもまたやったかでは済ませぬ段階にきているようである。小松川高女生殺しのときもあまりに書きすぎたといわれたが、それは容疑者が鮮人であり、また凶悪でもあるという点が弁護の材料にもなったが、こんどは無実だからあんなにまで家庭関係などを暴きだされては、少年の将来にもいろいろ悪い影響がある。通り魔も一少女を犠牲にしていることであり、手口も猟奇的なので容疑者がつかまったとなれば、人間的興味の面からも書き立てたいところだろう。しかし人権を侵害するところまで立ち入る権利はないはずである。ただ新聞を弁護するとすれば、いかにもこの少年が決定的な容疑者であるように思わせた、警察側の態度に問題があろう。おそらく一〇〇％犯人として発表されたものには違いない。ただ少年であるという立場から、逮捕ではなくて「保護」だと、言葉の上だけで強調されていた。この警察側の有頂天な態度が感染したものとは思うが、だからといって新聞側の立場を正当づけることにはならぬ。無論テレビに登場する場面か、実際とどれだけ違うかわからないが、ときどき見かける警察官の態度などにも、いかにドラマとはいえ、証人か犯人かわからないような取扱いをしていることがある。あんなのをみると、実際もそうではないかと思われる。しかし、新聞は警察と一緒に有頂天になるべきものではない。

その警察との関連であるが、これが平野署事件で現われてくるのである。この秘密調査書としては謄写物であるが、あの調査書の中には、新聞記者にたいする取扱いの態度が誌されているそうである。載っていた新聞が見当らないので不確かな個所もあるが、新聞記者というものは「プラス3マイナス7」であるから、適当な距離をおいて付き合っておけというようなものだったと記憶する。ずいぶんなめられた話だが、警官は新聞記者を利用しようとしているだけで、本質的には対立物としてみていることがわかる。ありがたいものを落してくれたもので、これだけハッキリ書かれたら、新聞記者の側としても考えるところあって然るべきであろう。警察官の言葉に踊らされて、彼らの名誉心を満足させてやる役割を勤めているだけだといったら、新聞記者は怒るに違いない。またそんな警察官ばかりというわけではなかろうが、たまたま利用されて大々的な報道をしたら、これが完全に警察側の見当だったということになったとしたらどうだろう。通り魔事件も一応そんな観点からみる必要があるかもしれない。しかしながらこれについても、理由はどうであれ、新聞報道のあり方という立場から、けっして新聞の名誉となる話ではない。

真実の報道は、いうべくして至難のことである。それにもかかわらず、社会は新聞にこれを要求している。ところが、現実は行きすぎが生じたり、ときには当初から誤報の要素をもって報道される。そんなことから新聞はしばしば非難の的になることがある。それには前述したように、新聞側が求めて窮地に立ったとしかみられぬ場合もある。平野署事件はこの反省の一大資料といってよい。

学園画廊

この処、関西ではファン・ゴッホ展や日展等に続いて、先ごろ大阪大丸で開催されたブリヂストン美術館展等があり美術愛好家を大いによろこばせている。同展では西洋近代における印象派前後の作品八十数点を並べている。これはもと石橋正二郎氏が個人的に収集したものであるが、昭和二十七年東京の京橋に開館されたブリヂストン美術館には三百点以上の作品がある。

その内の一部分ではあるが、同展に並べられた逸品だけでも大いに満足の出来るものであった。ロートレックの「ムーラン・ルージュ」のポスターである石版画から始まり、ロマン派のドラクロア、写実派のクーベルの「雪景」、ドガの「浴後」、ゴーガンの「女の顔」等につづいて、近代絵画の父といわれるセザンヌの「サント・ヴィクトアール山」もあった。これも複製等ではよく見かけるが木々の美しさ、や色調は原物でないとその価値は全く失われている。むしろ鮮明なブルーで統一されてある。

彼の絵は一見極めて単調な景色のようであるが無駄な雑物の少い自然の場合を特に選んでいる。そしてそこに絵画としてうまく構成されている。あまり込み入った所を描くのを好まず常に図の中心となるものをおいて出来るだけ重要な要素だけに集中する。サント・ヴィクトアール山というのはこの他にも数枚描いている。

パリ女性として育ち新しい感覚で誰も真似手のない画を描く女流画家、マリー・ローランサンの「二人の少女」（一九二三年作）があった。これもピンクを白と灰色を基調として夢のように描いている。その他ルリーの「飛行船のある風景」「牛のいる風景」もあり一点だけではあったが、厚味のある暗い絵の中に囲まれて、一際目立つシャニックの「港」があった。

印象派がフランスで栄えていた時、光を物理学的に研究してゆくと、プリズムで七つの色に分解されるが、自然の色はこの七色が、適当に混りあってそれが美しい色に見えるという考え方にたって、原色で点々とならべてゆき絵をかく新しい工夫が新印象派、又は点描派として発展してゆくがこの方法でスーラーやシャニックが始めたのである。物の形を正確に描き現わすことは出来なくとも光の輝かしさ、鮮かさ、色面効果をこれ程まで発展させたのはない。同展の「港」も白、ピンク、ブルー紫と、淡い虹色で、目がさめる様な鮮かさで描かれている。

処で西洋画家の作品はこれぐらいにして、日本画家の方では日本近代洋画を確立した黒田清輝。その作品は「鉄砲百合」「針仕事」「ブレハの少女」等があったが、ラファエル・コランに師事を受けただけに初期の作品では正統派的な確実さがある。暗く重みのあるその絵には今もなお製作者の情熱が感じられる。その他、白馬会の藤島武二「東海旭光」「屋島よりの遠望」等。

大正三年に二科会が結成された。これには梅原竜三郎、岸田劉生、安井曾太郎等がそれぞれ自己の作品に特殊性を発揮している。

四年程前に奈良に於いて文部省が主催の「明治、大正、昭和の名作美術展」にもこれらの人々の作品は数点並べられてあったが、特に安井曾太郎の「桜」はハッとする様な見事な描き振りで桜の花がこんなにも華やかな花であったかと楽しくなる程であり「ばら」の方は黒いバックに美しい花がくるくる描いてあるのはネオンのきらめく夜景を見る如くであるが、そこに少しの嫌味もないのは大したものである。（豊）

蛙鳴

地下へ通じるうす暗い階段を降りて食堂へ入ると、パッと花がさいたように明るくて、やかましい。それもそのはず今日で試験も全部終り明日から休暇に入るので、あちらに三人、こちらに四人と話に夢中、どうやら試験も終ったし、遊びにでも行く相談でしょうか？「ばかに楽しそうやないか、エーおい！」スルスル（うどんを食っている音）

「これこれ、まあ聞いてくれや……」スルスル。

「どうした」

「いやさ〝ヤマ〟そのものずばり！こうもうまくあたるとはねエー」

「ヘエー、あんたのヤマが？」

「オヤ、信じないの、発表までのおたのしみ……」スルスル。

「お前去年もそんなこと言って落ちたんじゃなかったのか」

「そうや、開けてびっくり泣ッツラ、そんなとこやろうなアーお前やったら、ちやうか？」

「あほらし、去年は去年、今年は今年や……」

左様、まったくヤマのあたった時ほど笑のとまらないものはありませんよ。オヤこれはまた我が学園にはめずらしく可愛いお嬢さんのお出ましですな、アレアレ残念ながらうしろにコブがついていますウーン、なかなかの好男子です。キツネを注文しましたな、彼女食べながらコブの顔を夢みるように見ております、ただごとではありません、どうやら彼女恋をしているらしいです。

「ねエ――試験も終ったしコーヒでものみに行かない……」

青春

「うん、しかしもったいないや、ねエー、コーヒのんだと思ってサ、オレにうどんもう一杯オゴレよ」

オヤオヤ、この好男子なかなかチャッカリしてます、経済学専攻でしょうか。

「そうねえ…」

彼女ちょっと悲しそうな目をしてそれでもイソイソと食券を買いにいく、ああ彼女よ悲観することなかれ、かの男子こそ現在真に社会が望んでいるところの人です。私は力ゲながら彼女に声援を送ってやった。それにしてもあっちでもこっちでも、ツルツル、ムシャムシャ、バリバリ、偉大なるかな食欲。

さっきの三人組もだいぶ話が下ちてきましたな。

「ホルモンはね、レバーだよ、レバーネエ！よく焼いた鉄パンの上でネ、ジュー、ジューと…ああたまらん」

「それからビールをキューと一パイやろう……」

「そそ、そうなんだよ」

「行くか」

「行きましょうか？」

「ただし勘定は初めに言い出したあんた！」

「げエーそんな無ちゃな〝すべての人間は金の前において平等なり〟こんなこと誰かいわなかったかなアー」

「割カン、割カンで行きましょうよ奴さん平等が好きらしいから」

何んだかんだと言いながら、肩をくんでうれしそうに出て行きました、笑いながら〝青春〟そう青春なのです、あの二人も仲よく帰って行きますね、オヤもう九時半をまわりましたか、どうやらこのうすぎたない学園にも春が今年もまた来たようです、どれ私も……。【鶏肋】

音楽手帖

四月十日、ウイーン国立歌劇団の〝ドンジョバンニ〟をもって今年も大阪で国際芸術祭が開かれる。

昨今まで音楽に限らずいわゆる全ての芸術的催しは、東京と中央一辺到で、関西では芸術は育たないとの格言？が信じられていたのであるが、フェステバルホール、毎日ホール、又神戸では国際会館などの一流の設備をもつ劇場が次々と建てられ愛好者に次第に喜びをもたれつつある。

しかしこの国際芸術祭に限らず外国からの著名な演奏会は入場料が高く、我々にとってこれらの催しがいつも〝高根の花〟に終ってしまうのは残念だ。

ちなみにさきほどのウィーン国立歌劇団の入場料をあげてみても最低席が七〇〇円、しかもこれらの安い席は非常に少く、発売数分で売切れるのだから、早朝からプレイガイドに立ち並ぶヒマも、高い入場券を買うことのできない我々サイフの軽いものにとってはせいぜいラジオやテレビの中継で我慢しなければならないのがオチなのだろうか。

昨年の同じこの芸術祭においてはことにこの傾向が著しく、例えばプログラム一冊をとりあげてみても、定価五百円で、（それだけの装飾をした美しいものには違いなかったが）これには、この芸術祭の全プログラムが和文と英文で組まれ、せいぜい一回か多くて二回ぐらいの見る一般観客にはかえって不親切に思われた。

このようにプログラムに限らず全ての面において観客の対象が一般庶民でなく、外国の観光客などのいわゆる上流階級であったことを考え、もし今年もまたそのようなありかたであるならば、いつも私達は指をくわえて見ているだけになってしまうだろう。

商都大阪において立派な芸術を発展させてゆくのは画期的なことであり又喜ばしいことである。そしてそれらの事業をもって外国の観光客を誘致することは有意義なことは違いない。

しかしそれのみを追って、土地の一般庶民を忘れてしまったのであれば決して根強く発展して行くものではない。催しが著名になるほど〝安い席〟が少く、まして立見席なるものは全く考慮されていない。

せめて私たちの身分の者にとっても左程の無理をせずに入れるような〝安い席〟が設けられないものだろうか。二階の最後列に立ってでもいい、いつもくたびれたラジオからの〝声〟でなくたまには生の音楽に接してみたいものである。（平山）

学内告知板

学生課

学生課の休暇中の事務取扱いは午後七時まで。

教務課

卒業生再追試験の本年事務取扱いは次の通り
申込み受付　三月十四日まで
試験施行　十二日九時からはじまる。

野球部

本年度より新たに大阪市立大学二部、大阪学芸大学二部の二校の連盟加盟が正式決定を見ており、三月二十九日（日）よりリーグ戦は七大学として争われる事になっている。

なお新たにコーチ制をもうけて初代コーチに北浦一男氏が決定した。

山岳部

昨秋、竹下哲郎（文二）主将の下に再発足した本学「二部山岳部」では、この程第一回行動として中央アルプス駒ケ岳（二九五六米）に登山隊派遣、ポーラシステム（極地法）を採用して全員登頂の成果を収めた。

近代文学研究部

四月十七日午後六時四〇分より部室にて、近代文学に就いて座談会を行う。なお新入部員は特に歓迎する。

【近代文学研究部々長】

本社では各クラブの新入生募集広告を次の要項で受付けています。
☆締切日…四月十五日
☆提出先…新報部室
☆字　数…二〇〇字以内

新　報　社

映画

爆笑の中に描く諷刺

「ニューヨークの王様」

大和フイルム社
東急文化　共同配給

このところ日本には「ライム・ライト」以後ごぶさたしていたチャップリンの映画がひさびさにおめみえする。

「ニューヨークの王様」がそれで、前作と同じく製作、脚本、監督、作曲、主演と一人五役とは恐れいる。

彼は「ライム・ライト」を製作した後、アメリカを去って、ヨーロッパに住んでいたが、五年ぶりにロンドンのシェーパトン撮影所をかりうけて作った、彼、八〇本目の作品がこの映画で、チャップリン映画の総決算というところ。

ものがたりはあるヨーロッパの小国の王様が革命のために、アメリカへ亡命し、ニューヨーク空港につくところから始まり、アメリカ商業主義や、機械文明に失望して再び逃げだすという話し、相手役としては「涙い道」に出演していた、ドーン・アダムスがテレビのアナウンサーで、またおもしろいことにチャップリンの息子で、十一歳になるマイケル・チャップリンが、学校雑誌の編集者でマルクスを論じる天才少年に扮している。

音楽はフランスムード音楽の大物、ボリス・ザーベックが指揮し、チャップリンの作曲による〝マンドリン・セレナーデ〟は最近のヒット曲である。彼はこの映画について次のように語っていることは興味深い。

「私がこの映画を作ったのは、非米活動員の悪影響を描くためではなく、皆さんに笑っていただくためなのです。笑って下さればこの映画の目的は充分達成されるのです。非米活動委員会も皆さんに笑っていただくための一つの背景にすぎない。（写真は一場面）

お忙しい方のために……
元利自動継続の　リレー定期
いままでの通帳のほかに新しく便利な「リレー定期証書」ができました
住友銀行

新刊書籍・雑誌
専門書・参考書
冷暖房完備
近代人の書店
堂島中町電停前
株式会社 オーム社書店
大阪市北区堂島毎日大阪会館1階
電話 ㉞6127・6304・1341

Sailor
見るからに
すばらしい
書くとなお
すばらしい
セーラーロケット デラックス
¥3000・2000
ジュニアー
¥1500・1000・600
インキもセーラー

関西大学指定店
学生服なら専門の
大学校 中学校 小学校 専門
ベビー洋服店
大阪市北区天神橋筋五丁目四三

唯心論も
唯物論も
美を否定するもの
では勿論ない
整髪も
美の追求の
一現象
理論闘争も
頭髪を
ポマードは丹頂で
スッキリとさせてから
どうぞ!!
丹頂ポマード
金鶴香水株式会社

学生さんのお好みにマッチした！
清潔でエレガントなおしやれこそ近代学生の皆様の
身だしなみと云うものです
さわやかな香り、美しい仕上りのシボレーポマード
で御整髪下さい
パリー好みの粋な香り……
シボレーポマード
100円・150円・200円・300円

かぜ
クシャミ3回…
綜合かぜ薬
強力ルル
1日3回3錠ずつ 強力ルルは熱・咳・頭痛も治します。ひどい時は4～5錠のんで下さい。
強力ルル25錠(150円)・60錠(300円) ルル20錠(100円)
三共株式会社
●お子さまには甘いルルシロップ 30cc(100円)